

輸出事業計画

※申請者名：株式会社 飯尾醸造、品目：食酢

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 平成28年に商社からの依頼でアメリカ輸出を開始し、アメリカ・EU圏の需要が年々増加し、輸出拡大している。
- 世界的な健康志向の高まりや、日本食レストランの増加等により、食酢の需要が高まっており、今後も増加することが予想される。

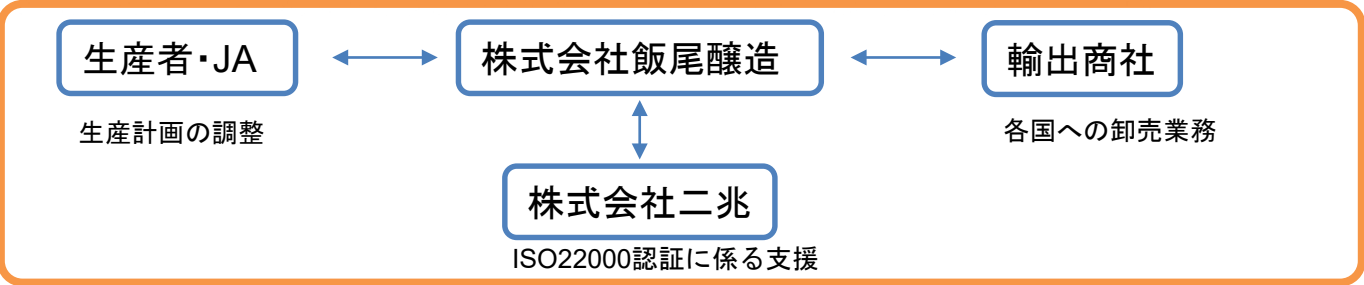
【課題】

- 現在FSMAの対応のみであり、輸出先国の規制対応やバイヤーから求められているHACCPに係る国際基準の第三者認証を有していないことから、認証基準を満たす設備を整備する必要がある。
- 輸出先国の基準を満たす食酢の製造量が限られているため、取引先からの要望にすぐに対応できず、「納期待ち」等とせざるを得なくなっている。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 専門家のアドバイスを受け、機器整備を進めることで取引先より求められている国際基準の第三者認証を取得し、輸出先国の規制等に対応する。
- 現状よりも大きな容量に対応した醸造タンクを導入することで、これまで断らざるを得なかった取引に対応することが可能となり、輸出量の拡大が見込める。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	【現状】 (令和4年度)	【目標】 (令和10年度)
輸出額（千円）	17,983	37,983
輸出量（L）	12,007	25,360
主な輸出先	アメリカ・イギリス・フランス・中国	アメリカ・カナダ・イギリス・フランス・中国